山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号



発行所 山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代)

FAX 0968-44-2420

くまもとメディカルネットワークの構築と市民の安心の声

医療機関がくまもとメディカルネットワーク(以下、KMN)を利用するには、まず患者さまに説明し、同意書を取得する必要があり、当センターでは2019年11月より実施しております。患者さまへの説明に際して、安心につながるとご好評を得ている一方、鹿本地域の利用可能医療機関が増えてほしいとの要望もいただいております。医療情報の共有による患者さまのメリットに加え、診療点数、共同利用の利便性のメリットもありますので、ぜひこの機会に導入をご検討ください。

●診療点数のメリット

診療情報提供書をKMNで電子的に送っていただいた場合、送信側でも受信側でも点数(下図参照)が取ることができます。

●共同利用の利便性

MRI・CTの共同利用時、検査翌日にはKMNで画像とレポートを見ることができます。レポートはFAXのような劣化や紙の管理の手間がかかりません。

●災害時の備え

災害等でカルテが消失した場合でも、既往歴、処方歴等が確認できるため、迅速な診療を行うことができます。

患者さまの参加同意数が多いほど利用可能施設のメリットとなりますので、当センターは2019年度の目標を同意書100件と定め、取り組んでいます。当初、外来で周知キャンペーンを行いましたが、自分のかかりつけで利用できないのであれば参加しないとの声が多く、同意書の取得は1週間でわずか数件でした。現在は入院患者さまにも説明を実施し、1日2件程度の取得数になり、目標の達成が見えてきています。KMNを介して、かかりつけ医、2次医療機関、高次医療機関がより密接に連携し、地域の患者さまが安心して診察を受けられるよう取り組んでいきますので、今後ともご協力、ご指導賜りますようお願いいたします。

(文責:医事課 安永 和広)



送信側:診療情報提供料 2 50点+検査・画像情報提 供加算(入院外)30点





情報提供書郵送

検査データ・画像を KMN で提供

もしくは





合わせて KMN で 送信

受信側:電子的診療情報評価料 30 点

情報提供書 + 検査データ・画像

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
- ② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
- ③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
- ④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
- ⑤ 健全経営に努めます

CONTENTS

くまもとメディカルネットワークP1
新型コロナウイルス感染症患者受入訓練·······P2
医療最前線(120) ····· P 3
手術・中央材料室のご紹介/緩和ケアチームのご紹介… P 4
公開講演会/公開薬剤師研修会/キャンサーボード…P5
外来担当医表(3月) ······P6

新型コロナウイルス感染症疑い患者受け入れ訓練を実施しました

2019年12月に中国武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、中国での感染者数が急激な勢いで増加 し、日本をはじめ海外にも広がりがみられています。日本では指定感染症に指定され、WHOは緊急事態宣 言を出して対策が行われています。しかし、現時点では感染が拡大しており、国内でも感染経路が不明な感 染例も出ています。今後、一般の医療機関でも感染例や疑い例が受診する可能性があります。

当院は今回、発熱と咳嗽の症状で来院した患者が新型コロナウイルス感染症疑いであることを受付事務職 員が探知したという設定で実施しました。

訓練を実施してから現在までに本感染症の状況は日々変化し、対応もそれに応じて変更されてきています。 現在までの情報のほとんどは、中国(湖北省)においての疫学的調査によるものであり、中国湖北省での致死 率は2%超の数字が示されていますが、湖北省以外およびその他の国ではそれよりも低い数値となっていま す。湖北省を含めた中国での医療や生活水準も日本とは異なります。それらを踏まえて、今後、国内で得ら れたデータの解析と解釈が重要であると考えます。また、今後の状況の変化を注視し、院内の状況に応じた 具体的な対応が行えるようにする必要があると考えます。

(文責:感染制御室 廣瀬

以下、「新型コロナウイルス感染症に関する行政検査について(依頼)」(令和2年2月17日厚生労働省 健康局結核感染症課)より

記

1 検査対象者について

新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる方の行政検査 については、都道府県等において、主に別紙第7の1(4)で示 された疑似症患者等について、これまで行われてきたと承知 しているが、今般、別紙に示された疑似症患者の定義に該当 する者に加え、以下のいずれかに該当する者についても行政 検査を行うこと。

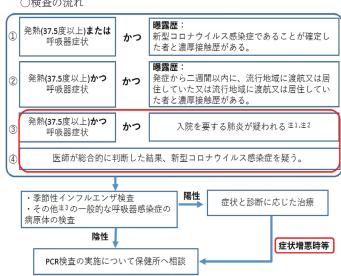
- ・ 37.5℃以上の発熱かつ呼吸器症状を有し、入院を要する 肺炎が疑われる者(特に裔齢者又は基礎疾患があるものに ついては、積極的に考慮する)
- 症状や新型コロナウイルス感染症患者の接触歴の有無な ど医師が総合的に判断した結果、新型コロナウイルス感染
- 新型コロナウイルス感染症以外の一般的な呼吸器感染症 の病原体検査で陽性となった者であって、その治療への反 応が乏しく症状が増悪した場合に、医師が総合的に判断し た結果、新型コロナウイルス感染症と疑う者
- 2 検査を行う際の留意点について

新型コロナウイルス感染症にかかる検査については、以下 の点に留意すること。

- (1) 以下の検査を行った上で、陰性であった場合には検査 を実施すること
 - ・ 季節性インフルエンザにかかる検査
 - その他一般的な呼吸器感染症の病原体の検査
- (2) 結果判明までに時間がかかる培養検査などについては、 当該検査結果を待つ必要はないこと

<参考>

○検査の流れ



注1. 従前の集中治療その他これに準ずるものに限らず、入院を要する肺炎が疑われる者 を対象とする

注2. 特に高齢者又は基礎疾患がある者については積極的に考慮する。

注3. 病状に応じて、早期に結果の出る迅速検査等の結果を踏まえ、培養検査など結果判 明までに時間がかかるものについては、結果が出る前でも保健所へ相談する。 ※赤枠は新規変更点

- ○別紙「医師及び指定届出機関の管理者が都道府県知事に届け出る基準」における新型コ ロナウイルス感染症に関する部分
- ○「「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 12 条第1項及び第 14 条第2項に基づく届出の基準等について (一部改正)」に関する留意事項について」(令 和2年2月7日健感発第0207第1号)

医療最前線(121)



高齢者の大腿骨近位部骨折の現状と課題

整形外科 横田 秀峰 先生

我が国は近年急速に高齢化が進んでおり、「令和元年版高齢社会白書」によれば2018年の65歳以上の人口の割合は28.1%、2036年には33.3%、2065年には38.4%まで上昇すると推定されています。このため、骨粗鬆症をベースとした脆弱性骨折が増加し、骨折治療の大半を高齢者が占めている状態です。また、近年「健康寿命」という言葉を多く目にします。「平成28年国民生活基礎調査」では、要介護となった原因の内、骨折・転倒が10.8%と認知症(24.8%)、脳血管疾患(18.4%)、高齢による衰弱(12.1%)に続く第4位でした。

とりわけ高齢者の骨折のなかでは、大腿骨近位部骨折と椎体骨折が大きな比率を占めています。大腿骨近位部骨折後に関して言えば、骨折後の生命予後は5年生存率約60%で骨折の場合の90%と比較して、著しく劣っています。また機能的にも術後1年で永続的機能障害残存は30%、歩行不能40%、ADLに一つでも障害を残すもの80%との報告もあります。

大腿骨近位部骨折の治療にはもちろん手術が必要ですが、術後も転倒予防のためのリハビリテーションや骨粗鬆症治療などを継続して行い、二次骨折を防ぐことも重要です。しかし、わが国では

手術後1年の骨粗鬆症治療継続率は30%程度に留まっています。このような現状に対して、骨粗鬆症治療においては日本骨粗鬆症学会により認定された骨折リエゾンサービスを導入する施設や、また高齢者骨折を診療対象とした整形外科老年病が既往症を含めて周術期管理を行う施設も出てきています。これが、死亡率や在院日数の減少、骨粗鬆症の治療率向上という結果に繋がっているようです。

私も山鹿に赴任してから、高齢の患者さまを治療することが多くなったと感じています。山鹿にお住いの高齢者の「健康寿命」を伸ばすことは、骨折を治療するだけでは成し得ません。骨折予防のための骨粗鬆症治療、転倒予防のための筋力維持やバランス力向上を目標にリハビリテーションを行うことが重要です。目標達成には先生方のお力添えが必要となりますので、今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。



原稿を募集致します

登録医の先生の投稿を歓迎いたします。400~800字程度を基準とします。 送付先 〒861-0593 山鹿市山鹿511番地 山鹿市民医療センター 地域医療連携室

http://yamaga-medical-center.jp

手術室の紹介

山鹿市民医療センター手術室は、麻酔科医1名を中心に、看護師11名、滅菌技師1名で日々の手術や中央材料室業務に取り組んでおり、平成29年からは臨床工学技士も手術室常駐となり手術に立ち会っています。手術室は4室あり、そのうち1室はバイオクリーンルームを備えています。外科、整形外科、婦人科、眼科の手術を行っています。平成30年度の手術件数は、1,100件でした。近年の手術件数は、ほとんど変化がない状態です。

科別に見ると、外科は204例で、内訳は、肝臓切除、ラジオ療法、胃、腸、胆嚢、ヘルニア等、悪性腫瘍に限らず多様な手術を行っています。また、腹腔鏡下の手術は117例で外科手術全体の57.4%を占めており、最近の手術の主流となっています。整形外科は480例で、内訳は、股関節や膝の人工関節62例、大腿骨骨折は153例で整形外科の症例の31.9%を占めています。また、高齢者や合併症を抱えた患者さまや認知症が多いのも特徴です。婦人科は53例で子宮摘出や卵巣摘出、帝王切開も行っています。眼科は、近年、加齢黄斑変性等に対する硝子体注射も手術室で行ってお

り、今後もさらに増加すると予測しています。 手術室スタッフ一同、患者さまに信頼される医療をめざして努力していきたいと思います。

(文責:手術・中央材料室 看護師長 宮園 清子)

平成28~30年度の手術件数

	H28	H29	H30
麻酔管理症例	725	678	633
局麻麻酔症例	388	420	467
総手術件数	1,108	1,098	1,100

平成28~30年度の科別手術件数

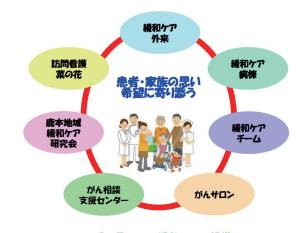
				H28	H29	H30
外			科	243	224	204
整	形	外	科	439	383	480
婦	人		科	49	65	53
眼			科	289	365	363

緩和ケアチームのご紹介

当センターでは、緩和ケアチームを平成16年4 月に発足し、さらに平成24年4月には緩和ケア病 棟を開設し、緩和ケアに取り組んでいます。緩和 ケアとは「がんその他の特定の疾病に罹患した者 に係る身体的若しくは精神的な苦痛又は社会生活 上の不安を緩和することによりその療養生活の質 の維持向上を図ることを主たる目的とする治療、 看護その他の行為」と定義されています(がん対 策基本法,第十五条)。当センターの緩和ケアチ ームは、医師・緩和ケア認定看護師・各病棟外来 リンクナース・薬剤師・社会福祉士・管理栄養 士・理学療法士・作業療法士の様々な職種で構成 され、様々な角度から、がんやその他の疾患の患 者さまのサポートを行っています。具体的には週 1回のチームカンファレンス・回診、リンクナー スによる病棟・外来でのサポートです。また当セ ンターが事務局となり、鹿本地域緩和ケア研究会 を年2回開催し、地域における緩和医療の普及活

動も行っています。これからも患者さま・ご家族のQOLを高める為には、何が最善か何が必要かをチームメンバーと共に考え協働する事を大切に、チーム力を高めながら、切れ目のない緩和ケアの提供を目指していきたいと思います。

(文責:緩和ケア病棟 看護師長 堤 里美)



切れ目のない緩和ケアの提供

案 肉

第69回公開講演会のご案内

(日本医師会生涯教育講座 1.5単位)

取得カリキュラムコード 番号・コード名 50.吐血・下血 51.嘔気・嘔吐 52.胸やけ

下記により第69回公開講演会を開催致します。多数 ご参加くださいますようご案内申し上げます。

> 鹿本医師会会長 幸村 克典 山鹿市病院事業管理者 豊永 政和

日時:令和2年3月13日(金) 19:00~

場所:山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題:「消化管内視鏡検査・治療」

演者:山鹿市民医療センター

消化器内科 柚留木 秀人 先生

会費:無料

お問合わせ先 😃 山鹿市民医療センター 事務部経営管理課 樋口、迎田 TEL: 0968-44-2185 (内線608)

キャンサーボードのご案内

当センターでは県指定のがん診療連携拠点病院 として鹿本医療圏のがん診療に積極的に携わって おり、消化器内科・腫瘍内科・消化器外科・放射 線科・病理診断などの各科医師と、看護師、薬剤 師、診療放射線技師、ソーシャルワーカーなど他 職種メンバーが、がん患者の症状や治療方針につ いて意見交換を行う「キャンサーボード」を開催 しております。興味のある先生方は、是非お気軽 にご参加ください。皆さまのご参加をお待ちして おります。

記

日時:3月第2水曜日 17:30~18:30

場所:山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

内容: 「山鹿におけるがん診療について」

熊本大学病院がんセンター 外来化学療法センター長

陶山 浩一 先生

参加費:無料

お問合わせ先 ②山鹿市民医療センター

医療技術部 薬剤科 柴田 佳代 TEL: 0968-44-2185 (内線758)

第23回公開薬剤師研修会のご案内

(日本薬剤師会研修1単位認定)

下記により第23回薬剤師公開研修会を開催致し ます。院外からの多数のご参加を歓迎いたします。

記

日時: 令和2年3月27日(金) 19:30~21:30

場所:山鹿市民医療センター 1階医療研修センター

演題:「いきいきとした高齢社会を支える

リハ栄養とリハ薬剤」

座長:きらきら薬局 薬剤師 逆瀬川 剛 先生

演者:原土井病院 薬剤部

科長代理 中道 真理子 先生

会費:無料

*参加希望の方は、下記までお申込み下さい。

お問合わせ先 😃 山鹿市民医療センター

TEL: 0968-44-2185 (内線771)

薬剤科 金森





外来担当医表

3月

診療科名	月	火	水	木	金
呼 吸 器 内 科	※ 御任 玲美	※ 猪山 慎治	※ 後藤 英介	_	※ 後藤 英介
腫 瘍 内 科	_	_	※ 陶山 浩一	_	_
消化器内科	千代永 卓 本原 利彦	柚留木 秀人	本原利彦	千代永 卓 柚留木 秀人	本原 利彦
内分泌·代謝内科	川崎修二	_	川崎修二	_	川崎修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博大庭 圭介	※ 海北 幸一 清水 博/大庭圭介	大庭 圭介 清水 博
整形外科(紹介外来制)	髙木 茂 横田 秀峰 松原秀太/中西浩一朗	工藤 智志 松原 秀太 中西 浩一朗	手 術(担当医)	髙木 茂 工藤 智志 横田 秀峰	手 術 (担当医)
外科	別府 透 佐藤 伸隆	手 術 (担当医)	別府 透 赤星 慎一	手 術 (担当医)	別府 透木下 浩一
乳 腺 外 科	_	※ 末田 愛子	_	_	_
泌 尿 器 科	_	※ 山﨑 浩藏	_	※ 非常勤医師	_
小 児 科	※ 石井 真美	_	※ 石井 真美 予防接種(午後)	※ 石井 真美	_
セ感 ラ党 日	_	※ 深見 直美	_	※ 非常勤医師	
タ見	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平	正林 耕平
産婦人科	値賀 さくら福島泰斗	福 島 泰 斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福 島 泰 斗	福 島 泰 斗 値賀 さくら	値賀 さくら 福島 泰斗
	※片渕美和子	(午後) 3/3以、10	20以、12休)、17以、	24以、26休、31以	V
総合診療科	吉岡明子	_	吉岡明子	_	吉岡 明子
救 急 外 来	外 科 医(午前) 整形外科医(午後)	吉岡明子	大庭・圭介	吉岡明子	外 科 医(午前) 担 当 医(午後)

- ◎診療時間は、8:30開始で11:00受付終了となります。予約変更の電話は、午後2時から5時までにお願いします。
- ◎小児科診療時間は9:00から16:30 (受付は16:00) 迄となります。予防接種は水曜日の午後に完全予約制となります。
- ※は、熊本大学病院等からの非常勤医師です。

特殊・専門外来

3月

名 称	担当医等	実 施 日	診察場所	
緩 和 ケ ア 外 来 (予約制)	佐藤伸隆	毎週 月曜・水曜(11:00~12:00)	Bブロック	
禁 煙 外 来(予約制)	坂 田 和 子	毎週 月曜(午後)		
睡 眠 時 無 呼 吸 外 来	坂 田 和 子	毎週 火曜・木曜(午後)	Aブロック	
小 児 科 予 防 接 種	※ 石井 真美	毎週 水曜 (受付時間13:30~15:30)		
ストーマ外来	担 当 医	毎月 第3水曜(午後)		
女性外来(婦人科、思春期、更年期)	※ 片渕美和子	3/3似、10似、12休、17火、24火、26休、31火	Bブロック	
P E G 外 来	担 当 医	隔週 第2・4水曜 (午後)		
両親学級(予約制:産婦人科)	助産師	第2·第4木曜日(13:30~15:30) ※産婦人科へお尋ねください。	5階病棟	
セカンドオピニオン外来 (予約) 各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。				

- ◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。
- ◎急患の場合は、この限りではありません。
- ご注意:学会等の都合で変更になる場合があります。
- ◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

😃 山鹿市民医療センター

〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL(代表)0968-44-2185 FAX 0968-44-2420 http://yamaga-medical-center.jp